

## 29 乳輪乳頭再建は推奨されるか？

### ■ 推奨

乳頭再建は健側からの乳頭半切移植法または局所皮弁法としてStar flap, Double-opposing tab flapなどが代表的な方法である。乳輪再建は、健側乳輪または大腿内側基部からの植皮または刺青法が代表的な方法である。いずれの方法も優劣があり、患者の状態に合わせて選択する必要がある。

### ■ 推奨の強さと根拠 2C (弱い推奨, 弱い根拠)

**根拠・解説** 乳頭形成法についてはこれまでさまざまな報告がなされており、代表的な形成法の長期経過についても比較検討されている。局所皮弁を用いた乳頭再建の多くは突出度が長期経過により減じてしまうことが問題であり<sup>1)</sup>、最も突出度の維持に優れた形成法を決定するには至っていない。健側乳頭の半切移植は古くから用いられている方法であり、健側乳頭が大きい症例や再建乳房に放射線治療が施されている症例にはよい適応である<sup>2)</sup>。

乳輪再建は皮膚移植もしくは刺青によって行うのが一般的で、近年、採皮部の犠牲を避けるために刺青のみで乳輪再建を行うことも多い。MRI 検査による刺青部熱傷の報告があるが、有害事象発生率は非常に低く避ける必要はないとされる<sup>3)</sup>。

乳輪乳頭再建の患者満足度は概ね高いが<sup>4-6)</sup>、半数は再建を行っていないとの報告もある<sup>7)</sup>。また乳輪乳頭の大きさや瘢痕の位置などによっても選択できる術式が変わるため、術者は患者の希望や状態にあわせて再建の有無とその方法を検討する必要がある。

**今後の課題** 乳輪乳頭形成法はこれまでさまざまな報告が数多くなされているが、それぞれの術式における長期結果の比較検討についてのエビデンスレベルの高い報告が待たれる。また刺青部のMRI 検査における安全性についてもさらなる検証が待たれる。

### ■ 参考文献

- 1) Tremp M, di Summa PG, Schaakxs D, et al. Nipple reconstruction after autologous or expander breast reconstruction : a multimodal and 3-dimensional analysis. *Aesthet Surg J.* 37 : 179-87 , 2017
- 2) Spear SL, Schaffner AD, Jespersen MR, et al. Donorsite morbidity and patient satisfaction using a composite nipple graft for unilateral nipple reconstruction in the radiated and nonradiated breast. *Plast Reconstr Surg.* 127 : 1437-46 , 2011
- 3) 富田祥一, 寺尾保信, 森克哉, 他. 乳輪乳頭部へのアートメイクのMRI 検査における安全性 (第1報). *形成外科.* 58 : 549-54 , 2015
- 4) Bykowski MR, Emelife PI, Emelife NN, et al. Nippleareola complex reconstruction improves psychosocial and sexual well-being in women treated for breast cancer. *J Plast Reconstr Aesthet Surg.* 70 : 209-14 , 2017
- 5) Losken A, Duggal CS, Desai KA, et al. Time to completion of nipple reconstruction : what factors are involved? *Ann Plast Surg.* 70 : 530-2 , 2013
- 6) Liliav B, Loeb J, Hassid VJ, et al. Single-stage nipple-areolar complex reconstruction technique, outcomes, and patient satisfaction. *Ann Plast Surg.* 73 : 492-7 , 2014
- 7) Weissler EH, Schnur JB, Lamelas AM, et al. The necessity of the nipple : redefining completeness in

